

## 人づくり(5)

小学校 1 年生の時に学校で道徳を教えることが大切だと思う。「人に迷惑をかけない。人の嫌がることをしない。礼儀正しくする。人を思いやる心を持つことの大切さ」などを学校で教えて欲しい。

(名古屋市、60代男性)

〔回答〕

道徳教育は、教育の基礎だと考えております。

これまでも、小学校の1年生から中学校3年生まで、毎週1時間「道徳の時間」があり、礼儀、決まりを守ること、うそをつかないこと、などについて考える場としております。また、道徳については、学校生活のすべての場面で指導をすることとされていますので、ご指摘のように教科の授業、給食、放課等のあらゆる場面で子どもたちの心をはぐくんでいくように努めております。

また、教育の基本は子どもと向き合うこと、話し合うこと、少しでも深く理解することです。それを、教員の研修の場などを通して、改めて確認しており、これがいじめの早期発見、早期対応にも結びつくものと考えております。 【教育委員会】

学校現場では、生徒の学力低下やいじめの問題などが深刻化している。いじめの問題では、先生自身がいじめられる側の痛みをしっかりと理解することが必要だと思う。そして、生徒にいじめられることの痛みを伝えていくことが必要だと思う。 (名古屋市、20代男性)

〔回答〕

ご意見のように、教育は生徒と教師との信頼関係の上に成り立つものです。教師は生徒一人ひとりの心の内まで理解できるように努力していきたいと思っております。そのため、学校では教師と生徒が向き合う時間をできるだけ生み出し、個別面接の時間を定期的に設けたり、生徒の心の状況をつかむためのアンケートなどを独自に行ったりしています。

とりわけ「いじめ」の解消については、まずいじめを受けている生徒の心の痛みを、教師自身がしっかりと理解し、痛みを共有することから始まると思っております。そして、その痛みを学級全員で共有することも大切なことです。教師は道徳資料や新聞等に掲載されたいじめの事例を基に、学級で話し合う中で、人の痛みが分かる人間として、生徒の心の成長を図っているところです。

また、教育は学校だけでできるものではありません。地域や家庭のご協力も必要ですので、今後も学校教育にご関心をいただければありがたく思います。 【教育委員会】

愛知県にはおいしい野菜の栽培に適した平野がある。産業としての“農”を復活させ、良い環境を将来に残すために、小・中学校で農業実習を実施し農業の大切さを子どもたちに教えて欲しい。

(名古屋市、40代男性)

〔回答〕

農業の大切さ、食品や食物についての教育は重要な今日的課題であり、環境問題を考える上でも大変重要なことととらえています。

これまでも、社会科で農業について学習するとともに、生活科や総合的な学習の時間に米や野菜を作る体験を実施している学校もあります。ここ数年、体験的な活動が重視され、環境問題や食糧

問題をはじめ、様々な視点から農業体験を扱う学校も増えてきています。

愛知県でも、改訂された学習指導要領の趣旨に沿って、自分たちの食を見つめ、食を支える農業などの学習を推進したいと考えています。

なお、愛知県では現在、「あいち・出会いと体験の道場（中学生の職場体験）」を行っており、授業とは別に、多くの学校が農業体験を始めさまざまな体験を実施しております。

【教育委員会】

家庭の事情で保護者が子どもを中卒にせざるを得ない場合など、子ども本人の申請で奨学金を出すことができないだろうか。意欲や資質のある者には支援してあげたいと思う。

（名古屋市、40代男性）

〔回答〕

本県では、勉学意欲があり、修学に経済的支援を必要とする国公立の全日制や、働きながら学ぶ定時制・通信制の高等学校、専修学校の高等課程に在学する生徒を対象として、無利息で成績要件のない、愛知県高等学校等奨学金制度を平成17年度から開始しております。

奨学金の申請に当たっては、世帯の収入が県の定める一定の基準以内であることや、生徒本人が未成年である場合は親権者の同意が必要ですが、生徒が主体となって貸与申請を行い、卒業後に10年から12年の分割で返還していただきます。

なお、その後他の教育施設に進学されたときは、その期間は返還を猶予しています。

この奨学金制度につきましては、昨年度は2,500人余の生徒の利用がありましたが、比較的新しい制度でございますので、多くの方々のご理解を賜り、さらに多数の生徒に活用していただけますように、より一層制度の周知に努めてまいりたいと存じます。

【教育委員会】

ベルマークは集めて団体へ送ると、社会で役立てられるという事は知っているが、ベルマークを集めても、これを渡す先が分からずに捨ててしまっている。スーパーやコンビニ等で回収箱を設置するなど、積極的に集めるようにするとよい。使用済切手なども、みんなで協力して社会に役立てたい。

（西尾市、30代女性）

〔回答〕

児童会や生徒会、PTAなどが中心となって、全校体制でベルマークを集めている学校では、現在におきましても集められたベルマークを、話し合いによって、全校児童生徒の役に立つものに換えております。

また、今後は、あなた様からのご意見を踏まえ、活動の主体となる保護者（PTA）に対しまして、愛知県教育委員会が行っているPTA指導者研修会等において、学校が教育活動の一つとして実施する場合は、活動の趣旨を十分に理解し、積極的に学校を支援していくよう啓発してまいりたいと考えております。

【教育委員会】